

ナンバリング	段階	コース	科目名	必修/選択	履修年次	講義/演習	単位数	開講期	遠隔授業	DPとの関連						テーマ	目的と概要	学修目標	到達目標
										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6				
KOD71-1-001	入門	共通	発達心理学	必修	1	講義	2	1Q							発達と心理の基本	発達に関する基礎的な概念や理論的枠組みをふまえながら、こどもの発達を理解することの意義を学ぶ。また、乳幼児期における身体、認知、社会性、感情、言語等の発達に関する知識を、自身の発達観やこども観、保育観構築の手がかりにする。現代社会における発達および保育の課題を検討し、保育者として必要な発達援助技術と具体的方法を身につける。	1)こどもの発達について基礎的な概念や理論的枠組みを十分に理解し説明できる。 2)乳幼児期における身体、認知、社会性、感情、言語等の発達について十分に理解し説明できる。 3)こどもを取り巻く環境をふまえながら、保育における発達援助について具体的にわかりやすく述べるができる。 4)自らの問いを持ってグループワークやディスカッションに参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)こどもの発達について基礎的な概念や理論的枠組みを理解し説明できる。 2)乳幼児期における身体、認知、社会性、感情、言語等の発達について理解し説明できる。 3)こどもを取り巻く環境をふまえながら、保育における発達援助について具体的に述べるができる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。	
KOD71-1-002	入門	共通	教育原理	必修	1	講義	2	1Q							教育の本質	教育の思想や歴史の変遷を学ぶ。また、それらを手がかりに現代社会における教育の現状と課題に向き合う。多様な教育の在り方や教育の未来について多角的・論理的に検討する。自ら問いをもち、必要な情報を集め、比較検討や他者と対話を通して思考する力を身につける。教育の原理や具体的な教育実践をふまえながら、こども観・保育観の意識的な構築を目指す。	1)教育の思想や歴史を手がかりに人間と教育について十分に述べるができる。 2)教育の理念および本質を論理的かつ的確に説明できる。 3)人間社会の現状を多角的に捉えながら、教育の課題や展望を具体的な場で述べるができる。 4)こども観・保育観を意識的に構築し十分に示すことができる。 5)自らの問いを持ってグループワークやディスカッションに参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)教育にかかわる思想や歴史を手がかりに人間と教育について述べることができる。 2)教育の理念および本質について論理的に説明できる。 3)人間社会の現状を多角的に捉えながら、教育の課題や展望について具体的に述べることができる。 4)こども観・保育観を意識的に構築し示すことができる。 5)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加することができる。	
KOD71-1-003	入門	共通	マテリアルとあそび1	必修	1	演習	2	1Q							水、土、石、砂と出会う	見て、触り、握り、匂いを嗅ぎ、聴き、、、と自らの五感をひらいて身の回りにあるマテリアル(水、土、石、砂)と出会うことから始める。マテリアルとの対話を通してそれらが持つ素質・特徴を探究する。またマテリアルと自身が出会った経験を言語化することで、五感と思考とを融合させながら「出会い」を「あそび」へと展開していく創造力を高める。	1)自らの五感をひらきマテリアルに働きかけながら、その素質・特徴との出会い、その属性を見出す為に自発的に探究することができる。 2)身近なマテリアルを活用した「あそび」を発想し、自ら夢中になることができる。 3)自らの体験を言語化・省察でき、それらを手がかりとし、創造的な「あそび」に向けた環境の工夫ができる。	1)自らの五感をひらきマテリアルに働きかけながら、その素質・特徴と出会うことができる。 2)身近なマテリアルを活用した「あそび」を発想することができる。 3)自らの体験を言語化し省察することができる。	
KOD71-1-010	入門	共通	こどもと表現1	選択	1	演習	1	1Q							乳幼児期の「表現1」と発達理解	「表現とは何か」といった根源的な問いに向き合いながら、乳幼児の発達やその表現と出会うことのできる関わり方について実践的に学ぶ、特に領域「表現」の指導の基盤となる乳幼児の表現行為を支援するために必要な知識、技能、豊かな感性、幼児の表現を見出し共感・受容する力、表現力を養う。また身近な素材や現象を幼児の表現活動に展開する力を身につける。	1)表現の探索行為としての役割や意義、発達との関係をわかりやすく説明できる。 2)表現が他者とのコミュニケーション行為としての側面を持つことを明確に説明できる。 3)自らの感性を豊かにし、幼児の表現への受容と共感が多角的な視点でできる。 4)他者の表現に積極的に出会うための対話的で創造的なアプローチを工夫できる。 5)身近な素材や現象が持つ興行きや豊かさを知り、幼児の表現活動へ積極的に展開できる。	1)表現の探索行為としての役割や意義、発達との関係を説明できる。 2)表現が他者とのコミュニケーション行為としての側面を持つことを理解し説明できる。 3)自らの感性を豊かにし、幼児の表現を見出し、受容、共感することができる。 4)対話的なアプローチを通して他者の表現に積極的に出会うことができる。 5)身近な素材や現象が持つ興行きや豊かさを知り、幼児の表現活動へ展開することができる。	
KOD71-1-011	入門	共通	コンピュータ演習	選択	1	演習	2	1Q							PCの基礎技術とアプリケーションの運用	コンピュータの基礎技術と代表的なアプリケーションの仕組みを理解し、適切な利用法を身につける。また、これらの知識をふまえ、各自が主体的に立案制作を行えるようになることを目指し、Word、Powerpointを用いたプレゼンテーションや、Photoshop、Illustratorを用いた演習を行う。	1)PCやアプリケーションの基本的知識や操作方法を理解し、自ら伝えたい内容を効果的に表現できる。 2)自分の表現したい内容に合わせてアプリケーションを使い分けて構成し、状況にあわせて的確に表現できる。 3)情報の受け手を意識し、伝達内容を編集しPCを使用した効果的な表現を粘り強く探究できる。 4)課題に対し、そのデータ作成から印刷、提出までのプロセスを、自ら計画的に取り組み期限内に発表できる。	1)PCやアプリケーションの基本的知識や操作方法を理解できる。 2)自分の表現したい内容に合わせてアプリケーションを使い分け、構成することができる。 3)情報の受け手を理解した上で、伝達内容を編集しPCを使用した表現に活かすことができる。 4)課題に対して、PCを使用したデータや印刷物で発表できる。	
KOD71-1-004	入門	共通	保育内容(表現1)	必修	1	演習	2	2Q							乳幼児の育ちと領域「表現1」	領域「表現」のねらい・内容をふまえながら、乳幼児期における表現との関わりについて理解を深める。また豊かな感性や、表現する力、創造性を育むために、どのように保育が計画されているのかを学ぶ。身体の動きや五感、音やリズム、物の色や形や質感など、さまざまな素材を用いて、乳幼児の発達に即した具体的な保育場面を想定した模擬保育を体験するとともに、振り返りを通して保育構想力(情報機器および教材の活用も含む)や保育を改善する視点を探る。	1)領域「表現」のねらい及び内容を理解し、わかりやすく説明できる。 2)乳幼児の豊かな感性、創造性を育むために必要な経験について分析的に理解し説明できる。 3)乳幼児の発達過程を総合的に理解し、領域「表現」に関わる現場を想定した指導案を作成し、模擬保育等に活用することができる。 4)模擬保育とその振り返りを通して、多様な保育構想力(情報機器および教材の活用も含む)や保育を改善する視点を提示できる。	1)領域「表現」のねらいおよび内容を理解し説明できる。 2)乳幼児の豊かな感性、表現する力や創造性を育むために必要な経験について理解し説明できる。 3)乳幼児の発達過程を理解し、領域「表現」に関わる具体的な保育を想定した指導案を作成し模擬保育等に活用することができる。 4)模擬保育とその振り返りを通して、保育構想力(情報機器および教材の活用も含む)や保育を改善する視点を示すことができる。	
KOD71-1-005	入門	共通	マテリアルとあそび2	必修	1	演習	2	2Q							光・影、紐、紙を操作・調整する	光や影、紐、紙など生活のなかにあるマテリアルを使用し、それらを主体的に操作すること、また、調整する演習に取り組む。演習を通じて「あそび」を展開する際に必要不可欠な造形要素である色や形、大きさなどを体験的に学び、自らが夢中になれる独自の関わり方を探究する。また、造形活動に不可欠な色材や道具の特性や、それらの適切な運用法を探索する。	1)混色原理や色彩対比、配色理論を深く理解し造形表現として応用することができる。 2)「あそび」を通じ、形や大きさ材質感に対する造形的な理解を深め自らの表現に繋げることができる。 3)基本的な造形要素を総合的に操作・調整し、他者とコミュニケーションをとりながら「あそび」に活用することができる。	1)混色原理や色彩対比、配色理論を理解し説明できる。 2)「あそび」を通じ、形や大きさに対する理解を深めることができる。 3)基本的な造形要素を操作・調整し「あそび」に活用することができる。	
KOD71-1-012	入門	共通	社会福祉	選択	1	講義	2	2Q							社会福祉の本質	現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷について学修する。また、社会福祉におけるこども家庭支援の視点を理解する。社会福祉の制度や実施体系等について学び、それらを活用した福祉サービスや、社会福祉援助の知識を身につける。支援者・援助者としての利用者の保護に関わる仕組みや、相談援助における基本的な姿勢および技術を学ぶ。	1)社会福祉の理念や意義、歴史の変遷を理解し的確に説明できる。 2)現代社会における社会福祉の法制度や福祉サービスについて理解し、わかりやすく説明することができる。 3)社会福祉の基本的な事項、課題や動向等を捉え、援助者としての基本的な姿勢を的確に示すことができる。 4)自ら問いを持ってグループワークやディスカッションに参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)社会福祉の理念や意義、歴史の変遷を理解し説明できる。 2)現代社会における社会福祉の法制度や福祉サービスについて理解し説明することができる。 3)社会福祉の基本的な事項、課題や動向等を捉え、援助者としての基本的な姿勢を示すことができる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加することができる。	
KOD71-1-013	入門	共通	音・歌あそび	選択	1	演習	2	2Q							音・歌あそびと意義と実践	こどもたちの身の回りはたくさんの音で溢れている。なかでも身体によって奏でられる音は、乳幼児にとって最も親しみ深い音の世界である。身体や身近な物、自然物をつかった様々な音あそびや、わらべ歌を中心とした歌あそびは、乳幼児の心と身体の健やかな成長を促す。各領域との関わりをふまえながら、乳幼児の豊かな感性や表現力、基本的な信頼感を育む音・歌あそびの指導法について学ぶ。また、体験的な学習やディスカッション、グループワーク等を通して、保育者として必要な技術やコミュニケーション力、実践力を養う。	1)音・歌あそびと領域の関わりを理解しわかりやすく説明できる。 2)発達に応じた音・歌あそびの実践方法および援助方法を理解し適切に実施できる。 3)自ら問いを持ってグループワークやディスカッションに参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)音・歌あそびと領域の関わりを理解し説明できる。 2)発達に応じた音・歌あそびの実践方法および援助方法を理解し実施できる。 3)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。	
KOD71-1-014	入門	共通	専門英語	選択	1	演習	2	2Q							多文化理解と英語力	1)日常英会話の基礎知識(文法+会話)を会得し、こどもとのあそびや創作活動に使える英語の語彙と会話力を身につけ、状況に応じて積極的に英語で表現することができる。 2)英語を通して異なる文化や慣習への興味を広げ、自ら深めていくことができる。 3)英語への苦手意識を取り外し、海外にルーツを持つこどもの思考や行動を理解する寛容力を身につけようと、自ら最善を尽くすことができる。	1)日常英会話の基礎知識(文法+会話)を会得し、こどもとのあそびや創作活動に使える英語の語彙と会話力を身につける。 2)英語を通して異なる文化や慣習への興味を広げよう心がけることができる。 3)英語への苦手意識を取り外し、海外にルーツを持つこどもの思考や行動の理解に努めることができる。		

ナンバリング	段階	コース	科目名	必修/選択	履修年次	講義/演習	単位数	開講期	遠隔授業	DPとの関連						テーマ	目的と概要	学修目標	到達目標					
										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6									
KOD71-1-006	入門	共通	保育原理	必修	1	講義	2	3Q							50	20	30	保育の本質	保育の思想や歴史の変遷を学ぶとともに、それらを手がかりに現代社会における保育・子育ての現状と課題に向き合う。自ら問いをもち、必要な情報を集め、比較検討や他者としながら多角的・論理的に思考する力を身につける。保育の原理を捉えながら、乳幼児の保育・教育に人間存在(人間らしさとは何か)の原点を見出すことで、こども観・保育観の意識的な構築を目指す。	1)保育の思想や歴史を手がかりに人間と保育についてわかりやすく述べるができる。 2)保育の本質を捉え、論理的かつ明確に説明できる。 3)こどもが生きる世界を多角的に捉え、保育の課題や展望を具体的にかつ明確に述べるができる。 4)こども観・保育観を意識的に構築し明らかに示すことができる。 5)自らの問いを持ってグループワークやディスカッションに参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)保育にかかわる思想や歴史を手がかりに人間と保育について述べるができる。 2)保育の本質を捉え論理的に説明できる。 3)こどもが生きる世界を多角的に捉えながら、保育の課題や展望について具体的に述べるができる。 4)こども観・保育観を意識的に構築し示すことができる。 5)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加することができる。			
KOD71-1-007	入門	共通	幼児理解	必修	1	演習	2	3Q							50	30	20	幼児理解の理論と方法	保育の出発点となる幼児理解の意義を学ぶ。また、乳幼児を取り巻く環境の現状と課題をふまえながら、個と仲間の関係や家庭、地域、他機関との連携の重要性について理解する。事例検討やディスカッション等を通して、乳幼児理解の方法(観察・記録・考察)を具体的に学び、保育者としての基礎的な知識・技術・態度を身につける。	1)幼児理解の意義を理解しわかりやすく説明できる。 2)乳幼児の発達および学びを捉える原理を理解し十分に説明できる。 3)幼児理解を深める観察、記録を的確に書くことができる。 4)乳幼児を取り巻く環境を踏まえながら幼児理解に必要な保育者としての姿勢を十分に示すことができる。 5)自らの問いを持ってグループワークやディスカッションに参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)幼児理解の意義を理解し説明できる。 2)乳幼児の発達および学びを捉える原理を理解し説明できる。 3)幼児理解を深める観察、記録を書くことができる。 4)乳幼児を取り巻く環境を踏まえながら幼児理解に必要な保育者としての姿勢を示すことができる。 5)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。			
KOD71-1-015	入門	共通	こどもと言葉	選択	1	演習	1	3Q							50	20	30	乳幼児期の「言葉」と発達理解	領域「言葉」の指導の基盤となる、乳幼児が豊かな言葉や表現を身につけるために必要な基礎知識と技術を学ぶ。人間にとっての「言葉」の意義および機能や、発達過程、乳幼児を取り巻く環境の現状と課題等への理解に基づきながら、乳幼児の言葉に対する感覚を豊かに育む教材(児童文化財等)研究に取り組み、保育者としての実践力を養う。	1)言葉のもつ意義と機能について十分に理解し説明できる。 2)言葉に対する感覚を豊かにする実践について幼児の発達の姿と合わせながら具体的にわかりやすく説明できる。 3)言葉の楽しさや美しさに気づき、言葉あそびなどの言葉の感覚を豊かにする実践について十分に理解し応用できる。 4)幼児にとっての児童文化財の意義を理解し、児童文化財について、基礎的な知識を十分に身につけて実践に活用できる。	1)言葉のもつ意義と機能について理解し説明できる。 2)言葉に対する感覚を豊かにする実践について幼児の発達の姿と合わせながら具体的に説明できる。 3)言葉の楽しさや美しさに気づき、言葉あそびなどの言葉の感覚を豊かにする実践について理解し応用できる。 4)幼児にとっての児童文化財の意義を理解し、児童文化財について、基礎的な知識を身につけて実践に活用できる。			
KOD71-1-016	入門	共通	マテリアルとあそび3	選択	1	演習	2	3Q							20		50	30	「あそび」を工夫する	「動き」や「繰り返し」などのキーワードを設定し、マテリアルを使用した「あそび」に取り組む。この演習では、主に空気や風、人工物(画像を含む)などさまざまな特性を持つマテリアルを使用する。演習を通じて、マテリアルの素質・特徴を理解していくだけでなく、マテリアルと行為との組み合わせ方を自分なりに工夫し、独自のテーマを持った関わり方を探究する。	1)マテリアルの特性を活かした創造的な「あそび」を自ら工夫し探究できる。 2)マテリアルと行為とを組み合わせた独自のテーマを見出すことができる。 3)「あそび」とものづくりの関係とその意義について、自らの言葉でわかりやすく述べることができる。	1)マテリアルの特性を活かしながら、「あそび」の工夫を探究できる。 2)マテリアルと行為とを組み合わせた独自のテーマを見出すことができる。 3)「あそび」とものづくりの関係について、自らの言葉で述べるができる。		
KOD71-1-008	入門	共通	保育内容(言葉)	必修	1	演習	2	4Q							50	30	20	乳幼児の育ちと領域「言葉」	領域「言葉」のねらい・内容をふまえながら、乳幼児期における言葉との関わりについて理解を深める。また、言葉を豊かに育むために、どのように保育が計画されているのかについて学ぶ。児童文化財等を活用しながら乳幼児の発達に即した具体的な保育場面を想定した模擬保育を体験するとともに、振り返りを通して保育構想力や保育を改善する視点を身につける。	1)領域「言葉」のねらいおよび内容を理解しわかりやすく説明できる。 2)乳幼児を取り巻く環境をふまえながら、乳幼児の言葉を豊かに育むために必要な経験について十分に理解し説明できる。 3)乳幼児の発達過程を理解し、領域「言葉」に関わる具体的な保育を想定した指導案を適切に作成し模擬保育等に活用できる。 4)模擬保育とその振り返りを通して、保育構想力や保育を改善する視点を十分に示すことができる。	1)領域「言葉」のねらいおよび内容を理解し説明できる。 2)乳幼児を取り巻く環境をふまえながら、乳幼児の言葉を豊かに育むために必要な経験について理解し説明できる。 3)乳幼児の発達過程を理解し、領域「言葉」に関わる具体的な保育を想定した指導案を作成し模擬保育等に活用できる。 4)模擬保育とその振り返りを通して、保育構想力や保育を改善する視点を示すことができる。			
KOD71-1-017	入門	共通	こどもと健康	選択	1	演習	1	4Q							50	20	30	乳幼児期の「健康」と発達理解	健康な心と身体を育て、自ら健康で安全な生活を創り出す力を養う領域「健康」の指導の基盤となる知識、技術を身につける。乳幼児を取り巻く環境の現状と課題をふまえながら、乳幼児期の心身の発達過程、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達等の意義を理解する。乳幼児期の生活・あそびを通して具体的な援助・指導方法について学修する。	1)健康の定義や意義を十分に理解し説明できる。 2)乳幼児期の心と身体(諸機能)の発達にかかわる健康課題について理解し的確に述べることができる。 3)乳幼児の発達の特徴や生活習慣の形成、安全な生活、病気の予防についての基本を理解し、わかりやすく説明できる。 4)乳幼児の運動発達の特徴と意義を十分に理解しわかりやすく説明できる。	1)健康の定義や意義を理解し説明できる。 2)乳幼児期の心と身体(諸機能)の発達にかかわる健康課題について理解し述べることができる。 3)乳幼児の発達の特徴や生活習慣の形成、安全な生活、病気の予防についての基本を理解し説明できる。 4)乳幼児の運動発達の特徴と意義を理解し説明できる。			
KOD71-1-018	入門	共通	こども家庭福祉	選択	1	講義	2	4Q							50	30	20	こども家庭福祉の基本	こども家庭福祉の意義、制度や実施体系、歴史の変遷について学修する。児童虐待やこどもの貧困問題等、今日のこども家庭福祉を取り巻く現状を捉え、子育て家庭が直面する多様な生活課題と社会的ニーズについて理解する。またそれらに対応する関係機関の役割や連携など支援方法を探る。こども家庭福祉の展望をふまえ、保育士の児童虐待を予防する役割と家庭支援について実践力を養う。	1)現代社会におけるこども家庭福祉の意義や制度、実施体系、歴史の変遷について理解し、的確に説明できる。 2)こども家庭福祉の現状と課題について理解し具体的にわかりやすく述べることができる。 3)こどもの権利擁護について十分に理解し、こども家庭福祉の動向と展望を具体的に述べることができる。 4)自らの問いを持ってグループワークやディスカッション等に参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)現代社会におけるこども家庭福祉の意義や制度、実施体系、歴史の変遷について理解し説明できる。 2)こども家庭福祉の現状と課題について理解し具体的に述べることができる。 3)こどもの権利擁護について理解を深め、こども家庭福祉の動向と展望を具体的に述べることができる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。			
KOD71-1-009	入門	共通	進級研究・制作I	必修	1	講義・演習	2	4Q							10	10	10	20	20	30	「あそび」を表現する	さまざまなマテリアルへ働きかけ、自らが展開した「あそび」を、他者に向けて編集し表現する。蓄積した「あそび」を振り返り、テーマを導き出し制作するなかで、自らが持つ資質に気づき、独自の価値観、世界観の土台を構築する。また、「あそび」の行為が主体である自らと、他者(こども)や社会との関係性についての考察にも取り組むことで、「こども芸術」の可能性を思考する。	1)こどもに関する情報や知識の収集を、好奇心を持ちながら主体的に行うことができる。 2)造形活動への言葉による省察を通じて、自己と他者の相互理解の手がかりを掴み向上業を企てられる。 3)マテリアル個々の素質や特徴への理解を基に、自らが夢になれる「あそび」を見出し表現できる。 4)「こども芸術」の可能性について自ら仮説を立て、社会課題に重ねてその意義を述べられる。	1)こどもに関する情報や知識の収集を、好奇心を持ちながら主体的に行うことができる。 2)造形活動への言葉による省察を通じて、自己と他者を相互に理解する手がかりを掴むことができる。 3)それぞれのマテリアルが持つ素質や特徴への理解を基に、自らが夢になれる「あそび」を見出すことができる。 4)「こども芸術」の可能性について自ら仮説を立てることができる。
KOD71-2-019	基礎	共通	保育内容(健康)	必修	2	演習	2	1Q							50	30	20	乳幼児の育ちと領域「健康」	領域「健康」のねらいや内容をふまえながら、乳幼児期における生活習慣や心身の発達、運動発達の特徴について理解を深める。また、基本的な生活習慣の形成や怪我や安全に対する危険回避能力等を育むために、どのように保育が計画されているのかについても学ぶ。幼児の発達に即した具体的な保育場面を想定した模擬保育を体験するとともに振り返りを通して、保育構想力や保育を改善する視点を探る。	1)領域「健康」のねらいおよび内容を理解し、わかりやすく説明できる。 2)乳幼児を取り巻く環境をふまえながら、生活習慣や心身の発達、運動発達の特徴を十分に理解し説明できる。 3)乳幼児の発達過程を理解し、領域「健康」に関わる具体的な保育を想定した指導案を適切に作成し模擬保育等に活用できる。 4)模擬保育とその振り返りを通して、保育構想力や保育を改善する視点を十分に示すことができる。	1)領域「健康」のねらいおよび内容を理解し説明できる。 2)乳幼児を取り巻く環境をふまえながら、生活習慣や心身の発達、運動発達の特徴を理解し説明できる。 3)乳幼児の発達過程を理解し、領域「健康」に関わる具体的な保育を想定した指導案を作成し模擬保育等に活用できる。 4)模擬保育とその振り返りを通して、保育構想力や保育を改善する視点を示すことができる。			
KOD71-2-024	基礎	共通	こどもと人間関係	選択	2	演習	1	1Q							30	20	50	乳幼児期の「人間関係」と発達理解	乳幼児を取り巻く環境の現状と課題をふまえながら、乳幼児期における人間関係の意義を学ぶ。特に乳幼児期に育つ人と関わる力の発達について、あそびや生活、身近な大人や保育者、仲間との関係から具体的に捉える。また、基本的信頼感に基づく乳幼児の自立心や協同性の育ち、道徳性・規範意識の芽生え、家族や地域との関わりと育ちについても、発達の姿と合わせて具体的に理解する。	1)幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴や社会的背景を理解しわかりやすく説明できる。 2)乳幼児期に育つ人と関わる力の発達について、身近な大人との関係から理解し説明できる。 3)あそびや生活の中で育つ人と関わる力の発達について、保育者、幼児、仲間との関係から理解し明確に説明できる。 4)自立心や協同性の育ち、道徳性・規範意識の芽生え、家族や地域との関わりと育ちについて的確に説明できる。	1)幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴や社会的背景を理解し説明できる。 2)乳幼児期に育つ人と関わる力の発達について、身近な大人との関係から理解し説明できる。 3)あそびや生活の中で育つ人と関わる力の発達について、保育者、幼児、仲間との関係から理解し説明できる。 4)自立心や協同性の育ち、道徳性・規範意識の芽生え、家族や地域との関わりと育ちについて説明できる。			

ナンバリング	段階	コース	科目名	必修/選択	履修年次	講義/演習	単位数	開講期	遠隔授業	DPとの関連						テーマ	目的と概要	学修目標	到達目標					
										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6									
KOD71-2-025	基礎	共通	こどもの保健	選択	2	講義	2	1Q							50	20	30			こどもの発育・発達の基本理解	こどもの心身の健康増進を図る保健活動の意義と目的を理解する。そのために、こどもの身体発育や生理機能および運動機能並びに精神機能の発達と保健について学修する。また、こどもの心身の健康状態の把握の方法を具体的に理解しながら、こどもの疾病とその予防法および他職種間の連携・協働の下での適切な対応を学ぶ。保育現場における衛生管理、事故防止、感染症対策、安全対策・危機管理・災害対策等についての知識を身に付け保育者としての実践力を養う。	1)こどもの発育・発達における保健活動の意義やこどもの心身の健康状態と把握方法について理解し明確に説明できる。 2)保育現場における環境整備、衛生管理、安全対策、危機管理についての説明ができる。 3)こどもの疾病と予防法および他職種間の連携・協働に基づく適切な対応について理解し明確に説明できる。 4)自らの問いを持って対話的態度でディスカッション等に参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)こどもの発育・発達における保健活動の意義およびこどもの心身の健康状態と把握方法について理解し説明できる。 2)保育現場における環境整備、衛生管理、安全対策、危機管理について説明できる。 3)こどもの疾病と予防法および他職種間の連携・協働に基づく適切な対応について理解し説明できる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。	
KOD71-2-026	基礎	共通	マテリアルとデザイン1	選択	2	演習	2	1Q									30	50	20	「あそび」を深める「記録」	「記録」をテーマに造形活動を発想・構想し、こどもを含む他者と共に活動を展開していくための基本的なデザインプロセスを学ぶ。また、多様な記録的アプローチを経験し、またそれらを言語化する取り組みを通じて、造形と記録との間にある密接な関係を体験的に修得するほか、記録・収集したものを分類、比較する技術や、製本技術についても併せて修得する。	1)自らの興味関心を手がかりとし、五感を使った独創的な「記録あそび」を見出すことができる。 2)造形活動の基本的なプロセス(ねらい、内容、構成、導入と展開、振り返り)を多様な実践から粘り強く探求し、またその経験や知識を活かしなが実践できる。 3)製本の基本的な知識や技術を習得し、自らの興味関心を広げ、製本を独自の工夫でおこなうことができる。	1)自らの興味関心を手がかりとし、五感を使った「記録あそび」を見出すことができる。 2)造形活動のプロセス(ねらい、内容、構成、導入と展開、振り返り)を理解し、自ら実践できる。 3)製本の基本的な知識や技術を習得し、製本作業をひとりでおこなうことができる。	
KOD71-2-027	基礎	共通	スポーツ実技	選択	2	実技	1	1Q								40	30		30	体力・コミュニケーション力の向上	身体活動を通して心身の活性化を促し、体力の維持・向上および心のケアをはかる。各運動種目の特性に応じた技術を学びながら健康づくりのための運動習慣を身につける。また、身体活動を通して自己および他者理解やコミュニケーションへの積極的参加と貢献の態度・姿勢を身につける。自らの体験から身体活動の意義を理解する。	1)身体活動の意義を体験的に理解し、的確に述べることができる。 2)身体活動を通して自分自身の心身の状態を知り、体力の向上および心のケアに、主体的に取り組むことができる。 3)スポーツのルールを遵守し競技することを通して、他者への尊重や全体への貢献が十分にできる。	1)身体活動の意義を体験的に理解し述べることができる。 2)身体活動を通して自分自身の心身の状態を知り、体力の向上および心のケアに取り組むことができる。 3)スポーツのルールを遵守し競技することを通して、他者への尊重や全体への貢献ができる。	
KOD71-2-020	基礎	共通	保育内容(人間関係)	必修	2	演習	2	2Q												乳幼児の育ちと領域「人間関係」	領域「人間関係」のねらい・内容をふまえながら、乳幼児期における人との関わりについて理解を深める。また、基本的信頼感に基づく自立心や協同性(協働性)等を育む為、どのように保育が計画されているのかについて学ぶ。乳幼児の発達に即した具体的な保育場面を想定した模擬保育を体験するとともに、振り返りを通して保育構想力や保育を改善する視点を探る。	1)領域「人間関係」のねらいおよび内容を理解しわかりやすく説明できる。 2)乳幼児を取り巻く環境をふまえながら、乳幼児の人と関わる力を養うために必要な経験について理解し明確に説明できる。 3)乳幼児の発達過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な保育を想定した指導案を作成し模擬保育等に的確に応用できる。 4)模擬保育とその振り返りを通して、保育構想力や保育を改善する視点を明確に示すことができる。	1)領域「人間関係」のねらいおよび内容を理解し説明できる。 2)乳幼児を取り巻く環境をふまえながら、乳幼児の人と関わる力を養うために必要な経験について理解し説明できる。 3)乳幼児の発達過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な保育を想定した指導案を作成し模擬保育等に的確に応用できる。 4)模擬保育とその振り返りを通して、保育構想力や保育を改善する視点を示すことができる。	
KOD71-2-028	基礎	共通	こどもと環境	選択	2	演習	1	2Q								30			50	乳幼児期の「環境」と発達理解	領域「環境」の指導において必要な感性を養い、教育内容に関する知識・技能を身につける。特に領域「環境」の指導の基盤となる、乳幼児の発達と、身のまわりの自然・物・事象、地域・文化などとの関わりやその影響、さらに現代的課題について学ぶ。具体的な体験活動やその振り返りを通して、保育における「環境」づくりの専門的概念について多面的な視点から理解を深める。	1)乳幼児を取り巻く環境の諸側面と乳幼児の発達におけるそれらの重要性を十分に理解し説明できる。 2)乳幼児と環境の関わり方を専門的概念を用いてわかりやすく示すことができる。 3)乳幼児期の生物・自然および物理的、数量・図形との関わりやの事象に対する興味・関心、理解の発達を的確に説明できる。 4)乳幼児期の標識・文字および情報・施設との関わりや、それらへの興味・関心、関わり方を具体的に説明できる。	1)乳幼児を取り巻く環境の諸側面と乳幼児の発達におけるそれらの重要性を理解し説明することができる。 2)乳幼児と環境との関わり方について専門的概念を用いて示すことができる。 3)乳幼児期の生物・自然および、物理的、数量・図形との関わりやの事象に対する興味・関心、理解の発達を説明できる。 4)乳幼児期の標識・文字および情報・施設との関わりや、それらへの興味・関心、関わり方について説明できる。	
KOD71-2-029	基礎	共通	こどもの食と栄養	選択	2	演習	2	2Q							30				50	こどもの育ちと食についての基礎理解	食べることは生きることであり、こどもの健やかな心身の成長・発達の基礎である。そこで、こどもを取り巻く環境をふまえながら、こどもの心身の健康と食生活の関わりについて理解を深める。栄養の基本的概念、栄養の種類と機能など、栄養に関する基本的知識を理解し、食に関する知識・技術を修得する。また、食生活の多様性や食環境の変化における現状と課題を理解した上で、こどもがよりよい食生活を身につけられるように、保育者として食育を実践する力を養う。	1)乳幼児期の発育・発達と食生活について理解し具体的にわかりやすく述べることができる。 2)望ましい食生活に必要な、栄養学の基本的知識が身につけ、的確に説明することができる。 3)こどもを取り巻く食環境について、自ら課題を見つけ、基本的知識を元に基本改善案をわかりやすくまとめることができる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でディスカッション等に参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)乳幼児期の発育・発達と食生活について理解し具体的に述べることができる。 2)望ましい食生活に必要な、栄養学の基本的知識が身につけ説明することができる。 3)こどもを取り巻く食環境について、自ら課題を見つけ、基本的知識を元に基本改善案をまとめることができる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加することができる。	
KOD71-2-030	基礎	共通	マテリアルとデザイン2	選択	2	演習	2	2Q											40	「コレクト」と「セレクト」	自らの活動を幼児へ向けてひろく技術を養うために、各自が収集したさまざまな物を活用した演習に取り組む。演習では、自らが収集した物を、幼児に向けて選択・編集しアウトプットするプロセスを通じて、独自の観点からアイデアを構築する技術や、木材を活用した制作の基本的知識と技術、絵本メディアの特性についても併せて学ぶ。	1)収集物と自らの関わりを思考しその魅力をこどもに向けて編集し、言語化できる。 2)木材の特徴や基本的な加工法を理解し、自らの選択に基づく制作に応用できる。 3)絵本メディアの特性や運用方法を理解し、こどもに伝わるよう制作に応用できる。 4)自らの収集物をこどもへ届ける際に、それらの取捨選択と編集が丁寧かつ効果的にできる。	1)収集物と自らの関わりを思考しその魅力を言語化できる。 2)木材の特徴や基本的な加工法を理解し、自らの制作に活用できる。 3)絵本メディアの特性や運用方法を理解し、自らの制作に活用できる。 4)自らの収集物をこどもへ届ける際に、それらの取捨選択と編集ができる。	
KOD71-2-031	基礎	共通	保育・教育基礎実習	選択	2	実習	1	夏期集中								30			50	20	保育現場での職業体験	学内の事前事後指導と学外の保育体験から教育・福祉について具体的に学修する。幼稚園・保育所・児童館の役割や機能など、基本的な知識を身につけるとともに、実際の教育・福祉現場を体験することを通して、こどもや保育者の仕事内容への理解を深める。保育インターンシップでの体験を振り返りながら、成果と課題を認識することで自身のキャリア形成の手がかりにする。	1)教育・保育現場でのインターンシップの意義・目的を理解し、的確に述べることができる。 2)教育・保育現場での体験を通じて、こども・保育への理解を深め、積極的に参加することができる。 3)振り返りを通してインターンシップの成果と課題を認識することができる。 4)自己の職業適性やキャリア形成について主体的に比較検討できる。	1)教育・保育現場でのインターンシップの意義・目的を理解し関係づけることができる。 2)教育・保育現場での体験を通じて、こども・保育への理解を深め、積極的に参加することができる。 3)振り返りを通してインターンシップの成果と課題を認識することができる。 4)自己の職業適性やキャリア形成について主体的に比較検討することができる。
KOD71-2-021	基礎	共通	保育内容(環境)	必修	2	演習	2	3Q								50	30	20		乳幼児の育ちと領域「環境」	領域「健康」のねらい・内容をふまえながら、乳幼児期における環境との関わりについて理解を深める。また、能動性、好奇心、探求心、有能感等を育む為、どのように保育が計画されているのかについて学ぶ。幼児の発達に即した具体的な保育場面を想定した模擬保育を体験するとともに、振り返りを通して保育構想力や保育を改善する視点を探る。	1)領域「環境」のねらいおよび内容を十分に理解し説明できる。 2)乳幼児が様々な環境に好奇心や探求心をもって関わろうとする力を育むために必要な経験について理解し明確に説明できる。 3)乳幼児の発達過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な保育を想定した指導案を作成できる。 4)模擬保育とその振り返りを通して、保育構想力や保育を改善する視点を明らかに示すことができる。	1)領域「環境」のねらいおよび内容を理解し説明できる。 2)乳幼児が様々な環境に好奇心や探求心をもって関わろうとする力を育むために必要な経験について理解し説明できる。 3)乳幼児の発達過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な保育を想定した指導案を作成できる。 4)模擬保育とその振り返りを通して、保育構想力や保育を改善する視点を示すことができる。	
KOD71-2-022	基礎	共通	カリキュラム論	必修	2	講義	2	3Q							50		20	30		保育の計画および評価	保育現場におけるカリキュラムの役割・機能・意義を理解する。カリキュラムに関する基本的な概念や編成原理を理解したうえで、日本におけるカリキュラムの歴史的変遷や海外のカリキュラムの展開について学ぶ。こどもをとりまく環境をふまえながら、現代のカリキュラム編成やカリキュラム・マネジメントについて具体的な取り組みを検討する。	1)保育現場におけるカリキュラムの意義を十分に理解し述べることができる。 2)カリキュラムの編成と展開、指導計画と評価の実際について構造的に理解しわかりやすく説明できる。 3)保育教育の理念に基づいたカリキュラムの編成と指導計画の作成について理解し適切に応用できる。 4)自らの問いを持ってグループワークやディスカッションに参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)保育現場におけるカリキュラムの意義を理解し述べることができる。 2)カリキュラムの編成と展開、指導計画と評価の実際について構造的に理解し説明できる。 3)保育教育の理念に基づいたカリキュラムの編成と指導計画の作成について理解し適切に応用できる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。	

ナンバリング	段階	コース	科目名	必修/選択	履修年次	講義/演習	単位数	開講期	遠隔授業	DPとの関連						テーマ	目的と概要	学修目標	到達目標					
										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6									
KOD71-2-032	基礎	共通	社会的養護(理論)	選択	2	講義	2	3Q							50	30	20	社会的養護の基本	社会的養護の意義、制度や実施体系、歴史的変遷について理解する。また、社会的養護の対象理解を深め、具体的な支援形態を学ぶ。こどもの権利擁護をふまえた社会的養護における施設保育士の専門性、基本原理や倫理的責務について修得し、実践に活かす応用力を身につける。あわせて今日の要養児童をめぐる現状と背景を検討し、虐待防止から適切な保護とケアに至る社会的養護の展開と社会的養護の今後の課題を捉え、探究するための専門知識と技能を養う。	1)現代社会における社会的養護の意義や制度、実施体系、歴史的変遷について理解し明確に説明できる。 2)こどもの人権擁護をふまえた社会的養護の基本について理解し、具体的にわかりやすく述べることができる。 3)社会的養護の現状と課題から、保育士の専門性や倫理的責務を理解し示すことができる。 4)自らの問いを持ち、グループワークやディスカッションに参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)現代社会における社会的養護の意義や制度、実施体系、歴史的変遷について理解し説明できる。 2)こどもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解し具体的に述べるができる。 3)社会的養護の現状と課題から、保育士の専門性や倫理的責務を理解し示すことができる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。			
KOD71-2-033	基礎	共通	マテリアルとデザイン3	選択	2	演習	2	3Q								30	40	30	数量、図形、文字の「アレンジ」	こどもの数量、図形、文字等への興味関心をテーマとし、映像メディアを活用したこどもに向けた演習課題に取り組む。この演習を通じて、自らの発見や発想をこどもにむけて「アレンジ」する技術を修得する。また、制作研究活動を回していくサイクル「発見・発想・構想・表現・実践・振り返り」を総合的に体験する他、映像メディアを活用する基本的技術とその特性について理解を深める。	1)こどもの数量、図形、文字等への興味関心へ共感を示すものづくりを独創的かつ分析的に発想・構想できる。 2)映像メディアの特性と適切な運用方法を発展的に理解し、高度に自らの制作に活かすことができる。 3)「こども芸術」における制作研究活動の基本的なサイクルを実践的に理解し自ら進んで実践できる。	1)こどもの数量、図形、文字等への興味関心へ共感を示すものづくりを発想・構想できる。 2)映像メディアの特性と適切な運用方法を理解し、自らの制作に活かすことができる。 3)「こども芸術」における制作研究活動の基本的なサイクルを理解し自ら実践できる。		
KOD71-2-034	基礎	共通	社会的養護(実践)	選択	2	演習	1	4Q								30	50	20	社会的養護における援助技術	こども理解を踏まえた社会的養護の基礎的な支援内容について具体的に理解する。施設養護および家庭養護の実践について修得する。個別支援計画や事例分析、相談援助の方法・技術、記録・自己評価について学修する。また、社会的養護を必要とするこども本人への援助のみならず、家族や地域等他機関との連携や、社会資源を利用して解決していく実践力を養う。	1)社会的養護の基礎的な内容や課題と展望について理解し明確に説明できる。 2)社会的養護にかかわる専門的な知識および技術(記録・分析・計画・評価含む)について理解し確に活用できる。 3)社会的養護におけるこどもの権利擁護と保育士の倫理および責務を理解し示すことができる。 4)自らの問いを持ち、グループワークやディスカッションに参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)社会的養護の基礎的な内容や課題と展望について理解し説明できる。 2)社会的養護にかかわる専門的な知識および技術(記録・分析・計画・評価含む)について理解し活用できる。 3)社会的養護におけるこどもの権利擁護と保育士の倫理および責務を理解し示すことができる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。		
KOD71-2-035	基礎	共通	こどもの健康・安全	選択	2	演習	1	4Q							30		20	50	こどもの健康と安全についての基礎理解	こどもの心身の健康増進を図る保健活動の意義と目的を理解する。そのために、こどもの身体発育や生理機能および運動機能並びに精神機能の発達と保健について学修する。こどもの心身の健康状態を把握する方法を知り、他職種間と連携・協働の重要性を理解する。保育現場における衛生管理、事故防止、感染症対策、安全対策・危機管理・災害対策等について、専門知識を身につける。	1)こどもの発育・発達における保健活動の意義やこどもの心身の健康状態と把握方法について理解し明確に説明できる。 2)保育現場における環境整備や危機管理等について理解し確に説明できる。 3)こどもの疾病と予防法、他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解し具体的に説明できる。 4)自らの問いを持ってグループワークやディスカッション等に参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)こどもの発育・発達における保健活動の意義やこどもの心身の健康状態と把握方法について理解し説明できる。 2)保育現場における環境整備や危機管理等について理解し説明できる。 3)こどもの疾病と予防法、他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解し説明できる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。		
KOD71-2-036	基礎	共通	乳児保育(理論)	選択	2	講義	2	4Q							50		20	30	乳児保育の基本	3歳未満児の保育の意義・目的と歴史的変遷について学修する。また、3歳未満児の発育・発達に基づく保育内容と運営体制について具体的に知る。保育所や乳児院等の多様な保育現場における乳児保育の現状と課題をふまえながら、保育者の役割について理解を深めるとともに、職員間の連携・協働および保護者や地域の関係機関との連携の重要性を理解する。	1)乳児保育の意義・目的、歴史的変遷、役割等を理解し明確に説明できる。 2)3歳未満児の発育・発達をふまえた保育内容と運営体制を理解し確に説明できる。 3)多様な乳児保育の現状と課題をふまえながら、職員間の連携・協働および保護者や地域の関係機関との連携について理解し確に説明できる。 4)自らの問いを持ってグループワークやディスカッション等に参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)乳児保育の意義・目的、歴史的変遷、役割等を理解し説明できる。 2)3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容と運営体制について理解し説明できる。 3)多様な乳児保育の現状と課題をふまえながら、職員間の連携・協働および保護者や地域の関係機関との連携について理解し説明できる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。		
KOD71-2-037	基礎	共通	保育実習指導1(施設)	選択	2	演習	1	4Q							20		50	30	施設実習の事前事後指導	居住型児童福祉施設等の学外実習(施設)に向けて、実習の意義や目的を理解し、実習に対する心構えや倫理観について学ぶ。実習のねらいと目的、課題を理解し、実習に臨むために必要な基礎知識を修得する。実習の事前、実習中、事後指導を通じて、施設保育士に求められる資質、能力、技能を理解し、実習生として必要な技術や記録の観点を身につける。	1)施設の役割や機能を十分に理解し、適切に説明できる。 2)施設実習に向けて個人記録の書き方や、職務内容の基本を理解し、十分に準備ができる。 3)実習への明確な目的をもち、施設保育士として実習に必要な倫理観や心構えを身につけ、わかりやすく述べるができる。	1)施設の役割や機能を理解し説明できる。 2)施設実習に向けて個人記録の書き方や、職務内容の基本を理解し準備することができる。 3)実習への明確な目的をもち、施設保育士として実習に必要な倫理観や心構えを身につけ示すことができる。		
KOD71-2-038	基礎	共通	施設実習1	選択	2	実習	2	後期中								20	50	30	居住型児童福祉施設等における生活支援とこども理解	居住型児童福祉施設等での実習を通して、児童への理解を深め、居住型児童福祉施設等の機能と保育士の職務、役割、倫理観について体験的に理解する。実習では、主に利用者として生活しながら、生活支援・学習支援・余暇支援・仕事(作業)支援・療育などに参加し、施設保育士の職務や専門性を具体的に学ぶ。また個別面談支援やグループ活動支援など、様々な社会福祉援助技術を身につける。	1)居住型児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解し、的確に説明できる。 2)観察やこどものかかわりを通してこどもへの理解を深め、自ら実習に参加できる。 3)施設保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学び、実践に応用することができる。	1)居住型児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解し説明できる。 2)観察やこどものかかわりを通してこどもへの理解を深め実習に参加できる。 3)施設保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学び、実践に応用できる。		
KOD71-2-023	基礎	共通	進級研究・制作2	必修	2	講義・演習	4	4Q							10	10	10	20	30	20	マテリアルデザインと「こども芸術」	生活に身近な「布」を素材とした「あそび」の探究と、こどもの環境を意識した作品制作に取り組む。一、二次で学んだマテリアルとメディアの活用についての知識や技術、経験をもとに、こどもを取り巻く社会課題に目を向けた表現と重ね、実践的な制作に取り組むことで、「こども芸術」についての本質的理解を目指す。また、自らの制作研究活動を振り返り、ポートフォリオにまとめることで、三次からの学びの土台を形成する。	1)こどもの対話的な関わりや問いかけのなかで、それぞれの主体性を多角的かつ複層的に見出し尊重できる。 2)こどもを取り巻く社会課題に対し主体的に興味関心を広げ、自らの考えを論理的に示すことができる。 3)こどもや社会に働きかけながら「実践・検証」をし「こども芸術」の本質的理解への粘り強い探求ができる。 4)対象や環境を意識した活動からあそびが持つ可能性を理解し、独創的な表現へ展開できる。	1)こどもとの対話的な関わりや問いかけのなかで、それぞれの主体性を尊重することができる。 2)こどもを取り巻く社会課題に対して、自らの考えを論理的に示すことができる。 3)「こども芸術」についての自らの仮説を、こどもや社会に働きかけながら「実践・検証」、その本質的な理解を進めることができる。 4)対象となるこどもや、その環境を意識した活動を通して、あそびが持つ広がりや可能性を理解し、表現できる。
KOD71-3-039	応用	共通	教育制度論	必修	3	講義	2	1Q							50		20	30	教育制度の基本	教育制度の基本(主に保育・幼児教育)について、文化社会および歴史的アプローチから理解する。また、現代における様々な教育政策や諸外国の教育制度を知ることで、教育(制度)の課題と展望について思考し理解を深める。教育制度の意義をふまえながら、地域との連携や安全管理や安全教育など、幼児教育施設を取り巻く様々な現代的課題を具体的に理解する。	1)教育制度の基本について十分に理解し説明できる。 2)教育制度に関わる課題と展望を具体的にわかりやすく述べることができる。 3)こどもを取り巻く環境をふまえながら、地域との連携や安全管理、安全教育の重要性を説明できる。 4)自らの問いを持ってグループワークやディスカッションに参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)教育制度の基本について理解し説明できる。 2)教育制度に関わる課題と展望を具体的に述べることができる。 3)こどもを取り巻く環境をふまえながら、地域との連携や安全管理、安全教育の重要性を説明できる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。		
KOD71-3-040	応用	共通	マテリアル・プラクティス1	必修	3	演習	2	1Q								20		50	30	言語化とテーマの設定	独自のテーマを設定し対象を意識した制作研究の展開を図るために、これまでの学び(知識、経験、技術)を振り返りまとめる課題「自分カタログ」に取り組む。自らの経験を言語化し、それらをマテリアルとして1つの冊子を編集する課題を通して活動テーマのリサーチを促す。アイデアを構想し、他者に向け効果的に発信する方法についても「あそびごころ」を持ち探究する。	1)一、二次での自らの制作や活動と、幼児教育・保育・福祉との知識や経験を関連付け、自らが持つテーマを言語化し説明することができる。 2)設定したテーマに沿って、1冊の「本」を編集・デザインし、適切に仕上げることができる。 3)対象と目的を明確に設定した「こども芸術」のアイデアを豊かに発想できる。 4)制作研究の行動計画表を論理的に作成し、主体的に実行しながら発想や構想を練ることができる。	1)一、二次での自らの制作や活動と、幼児教育・保育・福祉との知識や経験を重ね、自らが持つテーマを言語化し説明することができる。 2)設定したテーマに沿って、1冊の「本」を編集・デザインし仕上げることができる。 3)対象と目的を明確に設定した「こども芸術」のアイデアを発想できる。 4)制作研究の行動計画表を作成し、主体的に実行しながら構想を練ることができる。	

ナンバリング	段階	コース	科目名	必修/選択	履修年次	講義/演習	単位数	開講期	遠隔授業	DPとの関連						テーマ	目的と概要	学修目標	到達目標	
										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6					
KOD71-3-048	応用	共通	こども家庭支援論	選択	3	講義	2	1Q			50		20	30		子育て家庭に対する支援の基礎理解	現代の子育て家庭を取り巻く社会状況と、家庭の形態や役割の変化について理解する。保育士の専門性を活かした、子育て家庭に対する支援の意義、目的、具体的な支援体制や社会資源とその活用について学ぶ。また、今日の子育て家庭の現状や地域のニーズを知り、関係機関との連携を含めたソーシャルワーク等の支援の展開と今後の課題について検討する。	1)子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解し明確に説明できる。 2)保育の専門性を活かしたこども家庭支援の基本と支援体制について理解し明確に説明できる。 3)子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開とこども家庭支援の現状、課題について理解し具体的に、わかりやすく述べるができる。 4)自らの問いを持って、グループワークやディスカッションに参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解し説明できる。 2)保育の専門性を活かしたこども家庭支援の基本および支援体制について理解し説明できる。 3)子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開とこども家庭支援の現状、課題について理解し具体的に述べるができる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。	
KOD71-3-049	応用	共通	保育実習指導1(保育所)	選択	3	演習	1	1Q			20		50	30		保育所実習の事前事後指導	保育所の役割や機能、諸制度等を学び、保育所保育に関わる基本的な知識を身につけるとともに、学外実習の意義・目的を理解する。保育所でのこどもの生活やあそび、こどもと保育士、こども同士の関わりを具体的に学ぶ。教材理解、実習記録、指導案の基本を体験的に学びながら保育士に必要な実践力を養う。自己課題や目的を明確化し、保育所実習に対する心構えや倫理観を身につける。	1)保育所の役割や機能を十分に理解し説明できる。 2)保育所実習IIに向けて記録・指導案の書き方や教材理解の基本を理解し適切に準備できる。 3)実習への明確な目的をもち、保育所保育士として実習に必要な倫理観や心構えを明らかに示すことができる。	1)保育所の役割や機能を理解し説明できる。 2)保育所実習IIに向けて記録・指導案の書き方や教材理解の基本を理解し準備できる。 3)実習への明確な目的をもち、保育所保育士として実習に必要な倫理観や心構えを示すことができる。	
KOD71-3-050	応用	共通	音楽とあそび1	選択	3	演習	2	1Q			30		50		20	保育者に必要な音楽的表現技術	保育現場での音楽的表現活動に必要なピアノ等の楽器演奏や歌唱指導の基礎的な技術を身につける。初心者から上級者まで、個々のレベルに応じたレッスンを通してこどもの表現活動の伴奏や弾き歌い等、保育者としての保育実践力を養う。保育現場の実習指導と連携を図りながら乳幼児の豊かな感性や表現力を育むための指導法を修得する。	1)保育現場での音楽的表現活動に必要なピアノ等の楽器演奏(基礎)が十分にできる。 2)こどもの伴奏や弾き歌い等、実習に向けた準備が十分にできる。 3)発達に応じた音楽的表現活動の実践方法および援助方法を理解し適切に活用できる。	1)保育現場での音楽的表現活動に必要なピアノ等の楽器演奏(基礎)ができる。 2)こどもの伴奏や弾き歌い等、実習に向けた準備ができる。 3)発達に応じた音楽的表現活動の実践方法および援助方法を理解し応用できる。	
KOD71-3-041	応用	共通	教育方法の理論と実践	必修	3	講義	2	2Q			20			30	50	保育・教育の方法と技術に関する基礎的理解	これからの社会を生きるこどもたちの資質・能力を育成するために必要な保育・教育の方法、技術について学ぶ。また、情報機器および教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。今日の教育・保育の現状と課題、展望を検討しながら、保育現場における教材や環境への理解を深め、実際に作成・提示・構成する力を養う。その際、グループワークやディスカッション、ヒアリング等による対話力を培う。	1)保育・教育方法の基礎的理論と実践について十分に理解し具体的に述べることができる。 2)保育現場における教材理解に基づいた保育環境やこどもの経験を適切に構成できる。 3)情報機器を活用した効果的な教材等を実際に作成・提示することが十分にできる。 4)自らの問いを持ってグループワークやディスカッションに参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)保育・教育方法の基礎的理論と実践について理解し具体的に述べることができる。 2)保育現場における教材理解に基づいた保育環境やこどもの経験を構成することができる。 3)情報機器を活用した効果的な教材等を実際に作成・提示することができる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。	
KOD71-3-042	応用	共通	マテリアル・プラクティス2	必修	3	演習	2	2Q						30	50	20	制作と言語化	自らが設定したテーマに沿い、マテリアルやメディアの適切な選択と効果的な運用を工夫し実現できる。 2)「こども芸術」に関する先行研究の調査分析から、自らの研究制作領域への理解を深め明示できる。 3)制作研究の行動計画表を作成し、主体的に実行しながら自らの構想を粘り強く具現化しやり切れる。 4)自らの制作研究活動の社会的な意義を言語化し、対象や環境を意識しつつ論理的に伝えることができる。	1)自らが設定したテーマに沿い、マテリアルやメディアの適切な選択と効果的な運用を工夫し実現できる。 2)「こども芸術」に関する先行研究の調査分析から、自らの研究制作領域への理解を深め明示できる。 3)制作研究の行動計画表を作成し、主体的に実行しながら自らの構想を粘り強く具現化しやり切れる。 4)自らの制作研究活動の社会的な意義を言語化し、他者へ論理的に伝えることができる。	1)自らが設定したテーマに沿い、マテリアルやメディアの適切な選択と運用ができる。 2)「こども芸術」に関する先行研究の調査分析から、自らの研究制作領域への理解を深め明示できる。 3)制作研究の行動計画表を作成し、主体的に実行しながら自らの構想を粘り強く具現化しやり切れる。 4)自らの制作研究活動の社会的な意義を言語化し、他者へ論理的に伝えることができる。
KOD71-3-051	応用	共通	こどもと表現2	選択	3	演習	1	2Q					50		20	30	乳幼児期の「表現」と発達理解	音(楽)表現あそびの実践等を中心に、身体的表現・造形的表現等との有機的往還を通して、乳幼児の豊かな感性や創造力、表現力を育む指導法を身につける。乳幼児の表現の姿や発達への理解をふまえて、身の周りのものを身体の諸感覚でとらえ、素材の特性を活かした表現活動を展開する。グループによる実践発表やディスカッションを通して主体的に学びを深める。	1)乳幼児の表現の姿やその発達を十分に理解し説明できる。 2)身体・造形・音楽表現などの様々な表現の基礎的知識・技能・表現力を十分に身につけ、実践に活かすことができる。 3)身の周りのものを身体の諸感覚でとらえ、素材の特性を活かした表現活動を適切に展開できる。 4)自らの問いを持ってグループワークやディスカッションに参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)乳幼児の表現の姿やその発達を理解し説明できる。 2)身体・造形・音楽表現などの様々な表現の基礎的知識・技能・表現力を身につけ、実践に活かすことができる。 3)身の周りのものを身体の諸感覚でとらえ、素材の特性を活かした表現活動を適切に展開することができる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。
KOD71-3-052	応用	共通	乳児保育(実践)	選択	3	演習	1	2Q			30			20	50	乳児保育における援助技術	乳児保育における基本的な知識・技術に基づく援助や関わりを学ぶ。また、養護および教育の一体性をふまえて、乳児の発達と保育内容について具体的に理解する。3歳未満児の生活やあそび、保育者やこども同士の関わり、環境構成の意義を学ぶ。事例検討等を通して乳児保育計画の作成の実践を学び、乳児保育に必要な実践力を養う。	1)3歳未満児の発育発達を踏まえた保育内容や方法について具体的に理解し、わかりやすく説明できる。 2)乳児保育に於ける計画について具体的に理解し、かつ的確に作成できる。 3)3歳未満児の発育・発達過程や特性を十分に理解し、保育の基本的な考え方について適切に述べることができる。	1)3歳未満児の発育・発達過程や特性を踏まえた援助や関わりを基本的な考え方について理解し説明できる。 2)養護および教育の一体性を踏まえ、3歳未満児のこどもの生活やあそびと保育の方法および環境について理解し、応用できる。 3)乳児保育における配慮の実践について具体的に理解し、記録や計画等に活用できる。	
KOD71-3-053	応用	共通	保育所実習1	選択	3	実習	2	2Q					20	50	30	保育所における保育の実際とこども理解	保育所の役割や機能の基本について学ぶとともに、観察やこどもとの関わりを通して保育への理解を深める。具体的には、こどもの生活、あそび、保育内容、保育士やこども同士の関係、環境構成等がある。保育記録・指導案と実践のつながりや、専門職としての保育士の役割・職業倫理を理解し、自らの実践に活かす。振り返りを通して自己課題を明確化し、保育士として必要な知識・技術・態度を身につける。	1)保育所の役割や機能を具体的に理解しわかりやすく説明できる。 2)保育実践を通して、こども理解を深め、基礎的な記録・立案を行うことができる。 3)保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学び、実践に適切に活用できる。	1)保育所の役割や機能を具体的に理解し説明できる。 2)保育実践を通して、こども理解を深め、基礎的な記録・立案を行うことができる。 3)保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学び、実践に活用できる。	
KOD71-3-043	応用	共通	保育内容(表現2)	必修	3	演習	2	3Q						20	30	50	乳幼児期の育ちと領域「表現2」	領域「表現」のねらいおよび内容について理解しわかりやすく説明できる。 2)発達に応じた援助方法を適切に実践できる。 3)乳幼児の豊かな感性、表現する力や創造性を育むために必要な経験について理解し、領域「表現」に関わる具体的な保育を想定した指導案を作成できる。 4)模擬保育とその振り返りを通して、保育構想力(情報機器および教材の活用法含む)や保育を改善する視点を明確に示すことができる。	1)領域「表現」のねらいおよび内容について理解し説明できる。 2)発達に応じた援助方法を適切に実践できる。 3)乳幼児の豊かな感性、表現する力や創造性を育むために必要な経験について理解し、領域「表現」に関わる具体的な保育を想定した指導案を作成できる。 4)模擬保育とその振り返りを通して、保育構想力(情報機器および教材の活用法含む)や保育を改善する視点を明確に示すことができる。	1)領域「表現」のねらいおよび内容について理解し説明できる。 2)発達に応じた援助方法を適切に実践できる。 3)乳幼児の豊かな感性、表現する力や創造性を育むために必要な経験について理解し、領域「表現」に関わる具体的な保育を想定した指導案を作成できる。 4)模擬保育とその振り返りを通して、保育構想力(情報機器および教材の活用法含む)や保育を改善する視点を明確に示すことができる。
KOD71-3-044	応用	共通	特別支援教育概論	必修	3	演習	2	3Q			30			20	50	特別支援教育の基本	特別な支援を要とする幼児、児童および生徒がそれぞれの活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を培うことができるよう、幼児、児童および生徒の学習上又は生活上の困難を理解する。また、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な支援方法を修得する。	1)特別な支援を要とする幼児、児童の障害特性および心身の発達を十分に理解し説明できる。 2)特別な支援を要とする幼児、児童に対する教育課程や支援方法を理解し明確に説明できる。 3)特別の教育的ニーズのある幼児、児童の学習上又は生活上の困難とその対応を十分に理解し具体的に述べることができる。 4)自らの問いをもってグループワークやディスカッションに参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)特別な支援を要とする幼児、児童の障害特性および心身の発達を理解し説明できる。 2)特別な支援を要とする幼児、児童に対する教育課程や支援方法を理解し説明できる。 3)特別の教育的ニーズのある幼児、児童の学習上又は生活上の困難とその対応を理解し具体的に述べることができる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。	

ナンバリング	段階	コース	科目名	必修/選択	履修年次	講義/演習	単位数	開講期	遠隔授業	DPとの関連						テーマ	目的と概要	学習目標	到達目標		
										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6						
KOD71-3-045	応用	共通	マテリアル・プラクティス3	必修	3	演習	2	3Q							30	30	40	展示し社会にひらく	作品や活動を社会にひらくための展示・プレゼンテーション技術を学び、自らのテーマに沿った適切な方法を探求する。展示実践の演習では、鑑賞者の作品体験や鑑賞者とのコミュニケーションについて思考しながら試行錯誤に取り組み、実際の展示へと繋げる。また、展示の体験を振り返り、自らの活動や作品の新たな課題や可能性を見出すことで、制作研究活動を展開する手がかりを掴む。	1)自らの志をもとに、作品の細部まで徹底的にこだわり、仕上げるができる。 2)鑑賞者の体験や、鑑賞者とのコミュニケーションを意識し、独創的な作品展示が設計できる。 3)展示で得た経験を言語化し、幅広い視点で好奇心を持ちながら省察できる。 4)展示準備の行動計画表を具体的に作成し、主体的かつ柔軟に実行できる。	1)作品の細部にまでこだわり仕上げるができる。 2)鑑賞者の体験や、鑑賞者とのコミュニケーションを意識した作品の展示を設計できる。 3)展示で得た経験を言語化し省察することができる。 4)展示準備の行動計画表を作成し、主体的に実行できる。
KOD71-3-054	応用	共通	こども家庭支援の心理学	選択	3	講義	2	3Q			50			20	30		子育て家庭への支援の基本	生涯発達に関する心理学の基礎的な概念や理論的枠組を学び、初期経路の重要性・発達課題を理解する。また、家族・家庭の意義および機能をふまえながら、親子関係や家族関係等について包括的に捉える視点を身につける。具体的な事例検討等を通して、こどもの生育環境、精神保健、子育て家庭をめぐる現状と課題について理解を深める。	1)生涯発達に関する心理学の基礎的な概念や理論的枠組を理解し説明できる。 2)家族・家庭の意義や機能を理解し、親子や家族関係等について発達の観点から包括的に捉えることができる。 3)子育て家庭の現状をふまえ、こどもの精神保健と課題について理解し説明できる。 4)自らの問いを持ってグループワークやディスカッションに参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)生涯発達に関する心理学の基礎的な概念や理論的枠組を理解し説明できる。 2)家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から包括的に捉えることができる。 3)子育て家庭の現状をふまえながら、こどもの精神保健と課題について理解し説明できる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。	
KOD71-3-055	応用	共通	保育実習指導2(保育所)	選択	3	演習	1	3Q			20			50	30		保育所実習の事前事後指導	保育所・保護者・地域の連携における保育士の職務について理解を深め、自身の実習の意義・目的・課題を明確化する。乳幼児の発達に即した具体的な保育場面を想定した指導案の作成、模擬保育を体験するとともに振り返りを通して、保育構想力(情報機器および教材の活用含む)や保育を改善する視点を身につける。また、教材研究や保育内容の検討を通してこども・保育への理解を深め保育実践力を培う。	1)保育所の役割や機能(保護者支援や倫理綱領)、保育所保育士としての職務を理解しわかりやすく説明できる。 2)保育所実習Ⅲに向けて記録・指導案の書き方の理解を深めるとともに、指導案にもとづいた教材活用やあそび(活動)を自ら適切に準備できる。 3)実習への明確な目的をもち、保育所保育士として実習に必要な倫理観や心構えを明らかに示すことができる。	1)保育所の役割や機能(保護者支援や倫理綱領)、保育所保育士としての職務を理解し説明できる。 2)保育所実習Ⅲに向けて記録・指導案の書き方の理解を深めるとともに、指導案にもとづいた教材活用やあそび(活動)を自ら適切に準備できる。 3)実習への明確な目的をもち、保育所保育士として実習に必要な倫理観や心構えを示すことができる。	
KOD71-3-056	応用	共通	保育実習指導3(施設)	選択	3	演習	1	3Q			20			50	30		施設実習の事前事後指導	学外実習(児童福祉施設施設・障がい者支援施設)に向けて、実習の意義や目的を理解し、実習に対する心構えや倫理観を身につける。また地域における児童福祉施設等の社会的役割や機能を理解する。児童・利用者の権利擁護に基づく支援を理解し、施設保育士としての専門性を身につける。また家庭や地域の福祉的なニーズに対する理解力・判断力を養い、地域の子育て支援に必要な知識・技術・態度を修得し、実践力を培う。	1)児童福祉施設や障がい者支援施設の社会的役割、施設保育士としての職務を理解し、明確に説明できる。 2)各施設における多様な専門職や関係諸機関、地域社会との連携について学び実習に向けて、十分準備できる。 3)実習への明確な目的をもち、施設保育士として実習に必要な倫理観や心構えを、的確に示すことができる。	1)児童福祉施設や障がい者支援施設の社会的役割、施設保育士としての職務を理解し説明できる。 2)各施設における多様な専門職や関係諸機関、地域社会との連携について学び実習に向けて準備できる。 3)実習への明確な目的をもち、施設保育士として実習に必要な倫理観や心構えを示すことができる。	
KOD71-3-057	基礎	共通	展覧会デザイン	選択	3	演習	2	3Q			30			20	50		「テーマ」と「インストール」	グループワークを通じて、展覧会デザインの基本的なプロセスを体験する。役割ごとに班にわかれ、展覧会のテーマ設定、コンセプトの言語化、メインビジュアルの作成と広報活動に使用するDMなどへの展開、会場レイアウト、作品の搬入・搬出、運営などに取り組む。班でのディスカッションや計画、立案と、全体でのプレゼンテーションや情報共有と実践を通じて、グループワークに必要な総合的な力を養う。	1)グループワークにおける自身の役割を見通しを持って理解し、目標に向かって他者との協働に貢献できる。 2)「こども芸術」の学際的な研究領域が、明確にテーマ設定ができる。 3)計画した展覧会を、実施・運営において他者と協力しながら実現できる。 4)展覧会広報物に関して、企画コンセプトを視覚的に伝える要件を理解し、幅広く広報活動に活かすことができる。	1)グループワークにおける自身の役割を理解し、目標に向かって他者との協働に貢献できる。 2)「こども芸術」の研究領域が明確に伝わるテーマの設定ができる。 3)計画した展覧会を、協力しながら実現できる。 4)展覧会広報物に関する基本的な要件を理解し、広報活動に活かすことができる。	
KOD71-3-046	応用	共通	保育内容総論	必修	3	演習	2	4Q			30	50		20			乳幼児期の育ちと5領域の総合的理解	5領域のねらい・内容のつながりを確認し、あそび・生活全体を通した保育幼児教育の本質を理解する。また、模擬保育等を通してこども、教材、環境構成への理解を体験的に深める。保育現場における諸計画や評価の在り方を学ぶことで、保育幼児教育の特徴や保育者の役割を理解するとともに小学校教育へのつながりについても理解を広げる。乳幼児の発達の特性や発達過程を踏まえて総合的にとらえる視点を養い、具体的な保育実践力を身につける。	1)5領域のつながりを確認しながら、あそび・生活全体を通した総合的な教育の意義と保育者の役割について十分に理解し説明できる。 2)乳幼児期における発達の過程を見通した指導計画や評価の意義について理解し、的確に説明できる。 3)こども、教材、環境構成への理解を深め、模擬保育を適切に実施できる。 4)自らの問いを持ってグループワークやディスカッションに参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)5領域のつながりを確認しながら、あそび・生活全体を通した総合的な教育の意義と保育者の役割について理解し説明できる。 2)乳幼児期における発達の過程を見通した指導計画や評価の意義について理解し説明できる。 3)こども、教材、環境構成への理解を深め、模擬保育を実施できる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。	
KOD71-3-058	応用	共通	保育所実習2	選択	3	実習	2	4Q			20	50		30			地域社会における保育所の役割と子育て支援	保育所の役割や機能を学ぶとともに、保育への主体的な関わりを通して、こどもや保育への理解を深める。具体的には、個々の発達に即した援助、クラス運営、保護者支援、職員間の協働、地域や専門機関との連携等がある。また、保育課程・保育指導計画の理解に基づき、保育指導案を作成・実践し、クラス運営の力を培う。日々の自己評価、反省を通して、自己課題を明確化し、保育の再構築をする。	1)地域における保育所の役割や子育て支援の機能を具体的に理解し説明できる。 2)保育課程、保育指導計画、クラス運営の十分な理解に基づき、記録・立案を作成しながら主体的に保育に参加できる。 3)保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学びながら、日々の自己評価や反省を保育実践に適切に応用できる。	1)地域における保育所の役割や子育て支援の機能を具体的に理解し説明できる。 2)保育課程、保育指導計画、クラス運営の理解に基づき、記録・立案を作成しながら主体的に保育に参加できる。 3)保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学びながら、日々の自己評価や反省を保育実践に応用できる。	
KOD71-3-059	応用	共通	施設実習3	選択	3	実習	2	4Q			20	50		30			地域社会における福祉施設等の役割	学外実習(児童福祉施設施設・障がい者支援施設)を通して、福祉施設等の機能と施設保育士の職務、役割について体験的に学ぶ。児童・利用者とのかかわりを深め、権利擁護に基づく視点で、児童・利用者の日常生活支援、自立支援、療育支援、就労支援を体得する。各施設における多様な専門職や関係諸機関、地域社会との連携について理解を深め、具体的な事例に対し専門的な知識や技術を応用しながら支援する実践力を高める。	1)地域における施設の役割や機能を理解し、わかりやすく説明できる。 2)施設実習を体験することで、児童・利用者への理解を深め、実践的に学びを深め、自ら実施できる。 3)実習への明確な目的をもち、対人援助職の倫理と専門性を具体的に理解し、各施設における多様な専門職や関係諸機関、地域社会との連携について理解を深め主体的に実践できる。	1)地域における施設の役割や機能を理解し説明できる。 2)施設実習を体験することで、児童・利用者への理解を深め、実践的に学びを深め、実施することができる。 3)実習への明確な目的をもち、対人援助職の倫理と専門性を具体的に理解し、各施設における多様な専門職や関係諸機関、地域社会との連携について理解を深め実践できる。	
KOD71-3-047	応用	共通	進級研究・制作3	必修	3	講義+演習	4	4Q			10	10	10	10	30	30	フィールドワークへの展開	こどもの発達やこどもを取り巻く環境への理解と、自らの制作研究活動とを重ね、作品や活動を用いたフィールドワークを地域社会で実施する。フィールドワーク先の現場は主体的に自ら設定する。フィールドワークを記録し、ポートフォリオとしてまとめることで、制作研究活動を「こども芸術」として展開していく際に重要な、自らの志の在りかも確かめていく。	1)こどもを取り巻く環境とその課題に向き合い、自ら構想した「こども芸術」の活動から思考のサイクルを主体的に回し、新たな課題や改善策を見出し具現化できる。 2)自らのテーマから適切なマテリアルとメディアを選択し、幼児の発達に即した具体的な活動を構想し実現できる。 3)対象や環境を意識し、自らのあそびごころやあそびを他者や社会に向けてひらく工夫や丁寧な仕上げる過程の経験から、応用に繋げられる。	1)こどもを取り巻く環境とその課題に向き合い、自らが構想した「こども芸術」の活動から、思考のサイクルを主体的に回し、新たな課題や改善策を見出すことができる。 2)自ら立てたテーマから、適切なマテリアルとメディアを選択し、幼児の発達に即した具体的な活動を構想し実現できる。 3)対象や環境を意識し、自らのあそびごころやあそびを社会に向けてひらく工夫ができる。また細部までこだわって仕上げる過程を経験する。	
KOD71-4-060	発展	共通	教育者論	必修	4	講義	2	1Q			50	30		20			教育者の役割・資質	保育・教職の意義、保育者の役割・資質能力・職務内容等について理解する。保育に関する諸課題を認識し、課題解決に向けてグループワークやディスカッション等を通して論理的に検討する。保育現場におけるチーム組織・チーム学校運営としての対応および必要性を理解し、保育者・保育職の本質を捉え、求められる役割や資質能力を養う。	1)保育者・保育職の意義や職業的特性を理解し説明できる。 2)保育に関する諸課題を認識し、課題解決に向けて自ら論理的に思考することができる。 3)保育者・保育職の本質を捉え、求められる役割や資質能力を示すことができる。 4)保育現場におけるチーム組織・運営の必要性を理解し説明できる。 5)自らの問いをもってグループワークやディスカッションに参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)保育者・保育職の意義や職業的特性を理解し説明できる。 2)保育に関する諸課題を認識し、課題解決に向けて論理的に思考することができる。 3)保育者・保育職の本質を捉え、求められる役割や資質能力を示すことができる。 4)保育現場におけるチーム組織・運営の必要性を理解し説明できる。 5)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。	

ナンバリング	段階	コース	科目名	必修/選択	履修年次	講義/演習	単位数	開講期	遠隔授業	DPとの関連						テーマ	目的と概要	学修目標	到達目標			
										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6							
KOD71-4-062	発展	共通	幼稚園教育実習指導1	選択	4	演習	1	1Q							20	50	30	幼稚園実習の事前事後指導	幼稚園の役割や機能、諸制度等を学び、幼稚園教育に関わる基本的な知識を身につけるとともに、学外実習の意義・目的を理解する。幼稚園でのこどもの生活やあそび、こどもと教師、こども同士の関わりを具体的に学ぶ。教材理解、実習記録・指導案の基本を体験的に学びながら幼稚園教諭に必要な実践力を養う。自己課題や目的を明確化し、幼稚園教育実習に対する心構えや倫理観を身につける。	1)幼稚園の役割や機能を十分に理解し説明できる。 2)記録・指導案の書き方や教材理解の基本を身につけ、教育実習1に向けて自ら適切に準備できる。 3)幼稚園教諭として実習に必要な倫理観や心構えを明らかに示すことができる。	1)幼稚園の役割や機能を理解し説明できる。 2)記録・指導案の書き方や教材理解の基本を身につけ、教育実習1に向けて準備できる。 3)幼稚園教諭として実習に必要な倫理観や心構えを示すことができる。	
KOD71-4-063	発展	共通	音楽とあそび2	選択	4	演習	2	1Q							30	50	20	保育者に必要な音楽的表現技術	保育現場での音楽的表現活動に必要なピアノ等の楽器演奏や歌唱指導の応用技術を身につける。初心者から上級者まで、個々のレベルに応じたレッスンを通してこどもの表現活動の伴奏や弾き歌い等、保育者としての保育実践力を培う。保育所や幼稚園の実習指導と連携を図りながら乳幼児の豊かな感性や表現力を育むための指導法を身につける。	1)保育現場での音楽的表現活動に必要なピアノ等の楽器演奏(応用)が十分にできる。 2)こどものうたの伴奏や弾き歌い等、実習に向けた主体的な準備ができる。 3)発達に応じた音楽的表現活動の実践方法および援助方法を理解し適切に応用できる。	1)保育現場での音楽的表現活動に必要なピアノ等の楽器演奏(応用)ができる。 2)こどものうたの伴奏や弾き歌い等、実習に向けた準備ができる。 3)発達に応じた音楽的表現活動の実践方法および援助方法を理解し応用できる。	
KOD71-4-064	発展	共通	マテリアル・プラクティス4	選択	4	演習	2	1Q								30	50	20	マテリアルをデザインする	自らの疑問や興味関心からテーマを設定し、「こども芸術」のアイデアを構想する。対象や目的を設定し適切なマテリアルとメディアを自分なりに工夫し、具体的なカタチに粘り強く落とし込む力を身につける。また、自らの表現する領域に関連した先行研究や制作についても積極的リサーチし、制作研究との比較分析をおこないプレゼンテーションをする。	1)自らの疑問や興味関心を出発点とし、こども・他者との共感や共生を目的とする制作研究のテーマを生み出し、テーマの具現化に専門理論や技能、実践を活かせる。 2)アイデアを具現化するために、マテリアルとメディアへの粘り強い探究に取り組みすることができる。その経験を応用に繋ぐことができる。 3)制作研究の行動計画表を作成し、主体的かつ柔軟に実行し、その成果を時間内に且つ積極的にプレゼンすることができる。	1)自らの疑問や興味関心を出発点とし、こども・他者との共感や共生を目的とする制作研究のテーマを生み出せる。 2)アイデアを具現化するために、マテリアルとメディアへの粘り強い探究に取り組みすることができる。 3)制作研究の行動計画表を作成し、主体的かつ柔軟にそれらを実行できる。
KOD71-4-065	発展	共通	教育実習1	選択	4	実習	2	2Q								20	50	30	幼稚園における保育の実際とこども理解	幼稚園の役割や機能の基本について学ぶとともに、観察やこどもの関わりを通して保育への理解を深める。具体的には、こどもの生活、あそび、保育内容、教師やこども同士の関係、環境構成等がある。記録・指導案と実践のつながりや、専門職としての幼稚園教諭の役割・職業倫理を理解し、自らの実践に活かす。振り返りを通して自己課題を明確化し、幼稚園教諭として必要な知識・技術・態度を身につける。	1)幼稚園の役割や機能を具体的に十分に理解し説明できる。 2)保育実践を通して、こども理解を深め、基礎的な記録・立案を主体的に行うことができる。 3)幼稚園教諭の業務内容や職業倫理について具体的に学び、実践に応用できる。	1)幼稚園の役割や機能を具体的に理解し説明できる。 2)保育実践を通して、こども理解を深め、基礎的な記録・立案を行うことができる。 3)幼稚園教諭の業務内容や職業倫理について具体的に学び、実践に応用できる。
KOD71-4-066	発展	共通	子育て支援論	選択	4	演習	1	2Q							30		20	50	子育て支援内容の方法および技術	子育て支援の現状と課題をふまえながら、保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、援助、情報提供等の支援について学ぶ。また、様々な場や対象に即した支援内容や方法、技術について、実践事例等から具体的に理解する。ディスカッションやグループワークを通して支援者に必要な共感力、受容力、コミュニケーション力を培う。	1)子育て支援の意義、現状と課題、展望を理解し的確に説明できる。 2)保育の専門性に基づく保護者支援を理解し具体的にわかりやすく述べるができる。 3)保育士が行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援内容、方法、技術、実践事例等を通して具体的にわかりやすく示すことができる。 4)自らの問いを持ってグループワークやディスカッション等に参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)子育て支援の意義現状と、課題、展望を理解し説明できる。 2)保育の専門性に基づく保護者支援を理解し具体的に述べるができる。 3)保育士が行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援内容、方法、技術、実践事例等を通して具体的に示すことができる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。
KOD71-4-067	発展	共通	マテリアル・プラクティス5	選択	4	演習	2	2Q							20		30	50	マテリアルを届ける	作品や活動が持つ可能性を自覚化すると共に、制作における自らの志を確かめるプロセスとして、カタチにした自らの作品や活動を用いながら、こどもや地域社会に積極的に関わるフィールドワークに取り組む。活動の場は、自らのテーマから主体的に選択し、その取り組みは記録する。記録から分析と考察を行い、プレゼンテーションに取り組む。	1)社会やこども・他者へ創造的な働きかけを実践ができる。 2)実践の経験から、自らのアイデアの可能性を幅広い視点で確認し言語化できる。 3)実践の経験から、自らの作品や活動の課題を具体的に見出し、主体的なブラッシュアップへと繋げることができる。 4)「こども芸術」に関する先行研究の多角的な調査分析から、自らの研究制作領域への理解を深めることができる。	1)自らの作品や活動を用いて、社会やこども・他者へ主体的に働きかける実践ができる。 2)実践の経験から、自らのアイデアの可能性を確認し言語化できる。 3)実践の経験から、自らの作品や活動の課題を見出し、主体的なブラッシュアップへと繋げることができる。 4)「こども芸術」に関する先行研究の調査分析から、自らの研究制作領域への理解を深めることができる。
KOD71-4-068	発展	共通	教育相談	選択	4	講義	2	3Q							50		20	30	教育相談の基本的知識、技術を学ぶ	教育相談は、幼児が教師との信頼関係を深め、他児と好ましい人間関係を築くためのものである。仲間の中で生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動でもある。幼児の発達に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識(カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む)を修得する。	1)学校(幼稚園)における教育相談の意義と理論を理解し具体的にわかりやすく説明できる。 2)教育相談の具体的な進め方、組織的なチーム援助や専門機関との連携等の必要性を十分に理解し的確に説明できる。 3)教育相談のために必要な臨床的姿勢・態度を身につけ明確に示すことができる。 4)自らの問いを持ってグループワークやディスカッション等に参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)学校(幼稚園)における教育相談の意義と理論を理解し具体的に説明できる。 2)教育相談の具体的な進め方、組織的なチーム援助や専門機関との連携等の必要性を理解し説明できる。 3)教育相談のために必要な臨床的姿勢・態度を身につけ示すことができる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。
KOD71-4-069	発展	共通	幼稚園教育実習指導2	選択	4	演習	1	3Q							30		50	20	幼稚園実習の事前事後指導	幼稚園・保護者・地域の連携における幼稚園教諭の職務について理解を深め、自身の実習の意義・目的・課題を明確化する。幼児の発達に即した具体的な保育場面を想定した指導案の作成、模擬保育を体験するとともに、振り返りを通して保育構想力(情報機器および教材の活用も含む)や保育を改善する視点をつける。また、教材研究や保育内容の検討を通してこども・保育への理解を深め保育実践力を培う。	1)幼稚園の役割や機能、幼稚園教諭としての職務を理解し、わかりやすく説明できる。 2)教育実習2に向けて記録・指導案の書き方の理解を深めるとともに、指導案にもとづいた教材活用やあそび(活動)を準備できる。 3)実習への明確な目的をもち、幼稚園教諭として実習に必要な倫理観や心構えを明らかに示すことができる。	1)幼稚園の役割や機能、幼稚園教諭としての職務を理解し説明できる。 2)教育実習2に向けて記録・指導案の書き方の理解を深めるとともに、指導案にもとづいた教材活用やあそび(活動)を準備できる。 3)実習への明確な目的をもち、幼稚園教諭として実習に必要な倫理観や心構えを示すことができる。
KOD71-4-070	発展	共通	教育実習2	選択	4	実習	2	4Q								20	50	30	教育課程とクラス運営の理解	幼稚園の役割や機能を学ぶとともに、保育への主体的な関わりを通して、こどもや保育への理解を深める。具体的には、個々の発達に即した指導・援助、クラス運営、保護者支援、教職員間の協働、地域や専門機関との連携等がある。また、教育課程・指導計画の理解に基づき、指導案を作成・実践し、クラス運営の力を培う。日々の自己評価、反省を通して、自己課題を明確化し、保育の再構築をする。	1)地域における幼稚園の役割や子育て支援の機能を具体的に理解し、わかりやすく説明できる。 2)教育課程、指導計画、クラス運営の理解に基づき、記録・立案を作成しながら主体的に保育に参加することができる。 3)幼稚園教諭の業務内容や職業倫理について具体的に学びながら、日々の自己評価や反省を保育実践に適切に活かすことができる。	1)地域における幼稚園の役割や子育て支援の機能を具体的に理解し説明できる。 2)教育課程、指導計画、クラス運営の理解に基づき、記録・立案を作成しながら主体的に保育に参加できる。 3)幼稚園教諭の業務内容や職業倫理について具体的に学びながら、日々の自己評価や反省を保育実践に活かすことができる。
KOD71-4-071	発展	共通	保育・教職実践演習(幼稚園)	選択	4	演習	2	4Q							30	50	20	保育者の資質・能力	保育・教職の意義や役割、使命感、責任感、教育的愛情等について理解を深める。保育現場での実習をはじめとする保育・教職課程における学びを振り返りながら、保育者になる上での自己の課題を明確にする。保育に関わる課題の分析、考察、検討および演習を通して、より専門的な実践力を培う。専門性に基づくこども観、保育・教育観を意識的に構築する。	1)保育者としての資質能力について十分に理解し説明できる。 2)保育者として必要な対人関係能力や責任感、倫理観を明確に示すことができる。 3)こどもの発達を理解し、保育教材の研究や諸計画の立案、保育・学級経営の基本に関係づけることが十分にできる。 4)自らの問いを持ってグループワークやディスカッションに参加し、創造的な場となるよう継続的な努力ができる。	1)保育者としての資質能力について理解し説明できる。 2)保育者として必要な対人関係能力や責任感、倫理観を示すことができる。 3)こどもの発達を理解し、保育教材の研究や諸計画の立案、保育・学級経営の基本に関係づけることができる。 4)自らの問いを出発点とし、対話的態度でグループワークやディスカッション等に参加できる。	

ナンバリング	段階	コース	科目名	必修/選択	履修年次	講義/演習	単位数	開講期	遠隔授業	DPとの関連						テーマ	目的と概要	学修目標	到達目標					
										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6									
KOD71-4-061	発展	共通	卒業研究・制作	必修	4	講義・演習	8	後期集中							10	10	20	20	20	20	マテリアルと共に考える	<p>四年間の集大成としての卒業研究・制作にかかる統合科目。これまでに培ってきた幼児教育・保育・福祉に関する情報や知識・技術・現場での実習経験を社会で活かすために、積極的、主体的な制作研究活動を試行する。「こども芸術」の意義や可能性と、自らの志とを自覚しながら、他者が共感できる文脈を意識した表現を試みる。また展示では、社会課題に対し魅力的に問いを投げかけるための「あそびごころ」ある演出方法を提案する。</p>	<p>1)自身の信念と良心に従い「こども芸術」の力を、人のために社会で活かすことができる。 2)他者との共感と相互理解と深め、自らの活動を論理的に伝えることができる。 3)マテリアルとメディアの有用性を工夫し、自らのテーマを具現化できる。 4)研究・制作を通して社会課題に新たな価値と問いを提示できる。 5)「あそびごころ」を基に楽しむ力を持ち、自らのテーマを他者・社会に向けて演出・提示できる。</p>	<p>1)自身の良心に従い「こども芸術」の力を人のために社会で活かすことができる。 2)他者が共感できる文脈を意識しながら、自らの活動を論理的に伝えることができる。 3)マテリアルとメディアを工夫し、自らのテーマを具現化できる。 4)研究・制作を通して社会課題に問いを投げかけることができる。 5)こども芸術における「あそびごころ」をもとに、自らのテーマを他者・社会に向けて演出・提示できる。</p>